

2002年に発表された書籍・論文

伊藤進、『森と悪魔 中世・ルネサンスの闇の系譜学』、岩波書店、2002年4月

伊藤進、「忘れられたプロテスタント詩宣言 -フィリップ・ド・バの「序文」をめぐって-」、『ロンサル研究』（日本ロンサル学会）、15号、2002.6、pp.1-25

Masataka ISHIBASHI, Quelques réflexions sur la prose narrative à la Renaissance, Cahier d'études françaises Université Keio, 7, 2002.12, pp.1-17

猪俣賢司、「キケロ主義とトレント公会議体制下のローマの修辞学 -マルク=アントワヌ・ミュレから日本巡察使ヴァリニャーノへ-」、『ロンサル研究』（日本ロンサル学会）、15号、2002.6、pp.27-51

岩根久、「フランス詩脚韻資料作成のテクニック」、『言語文化共同研究プロジェクト2001 電子化言語資料の方法論』、大阪言語文化部・大学院言語文化研究科、2002.3、pp.1-11

江口修、「リズムとカノン -フランス・ルネサンス詩再考 その1-」、『人文研究』（小樽商科大学）、2002年9、pp.1-16

延味能都、「ロンサルにおけるカロンとパルカ -m'envoie (m'envoyez) en la barque de ...」、『ヨーロッパ言語文化研究』21号、岡山大学文学部、2002, 3、pp.51-73

久保田剛史、「モンテーニュとニコラウス・クザーヌス」、『仏語仏文学研究』（東京大学）、2002.11、pp.5-18

小山啓子、「移動する宮廷とフランス・ルネサンス王政」、『続・ヨーロッパの世界と旅』、法政大学出版、2002年7月

近藤壽良、Les Solemnités et festes de l'ordre de la Toison d'or: d'après le manuscrit KB76E12 de La Haye, 『高岡法科大学紀要』、13号、2002年3月、pp.1-10

斉藤広信、「ルネサンスと「われわれ」 C.-G.Dubois, Le Bel aujourd'hui de la Renaissanceの要旨・紹介」、『ロンサル研究』（日本ロンサル学会）、15号、2002.6、pp.53-67

佐藤正樹、「シレーノスの筈 -『ガルガンチュワ』のプロローグを読む」、Etudes françaises（早稲田フランス語フランス文学論集）、9号、2002年3月、pp.139-151

Jenny-Marie JEANMOUGIN, Une nouvelle «entrée» dans les *Essais* de Montaigne: perception auditive et valeur du son, études françaises（大阪外国語大学）、35号、2002年、pp.55-80

鈴木教司、「ヴァロワ期パリ=シャトレ裁判所の司法諸職と実務（2）」、『論集』（愛媛大学法文総合政策学科）、12号、2002年2月、pp.1-42

鈴木教司、「領主裁判所の司法運営と官職構成 サン=マルタン=デ=シャン小修道院領の場合」、『愛媛法学会雑誌』、28号-3・4、2002年3月、pp.1-24

鈴木教司、「フランス売官制の消長（21）司法官職を中心にして」、『愛媛法学会雑誌』、29号-1、2002年8月、pp.1-29

鈴木隆、「近代初期のパリの都市空間における契約による土地利用調査」、『フランス文化研究』（獨協大学）、33号、2002年3月、pp.17-36

高澤紀恵、「近世パリの広場と祝祭 聖ヨハネの火祭りをめぐって」、『宮廷と広場』（高山博他編）、刀水書房、2002.9、pp.269-294

高塚桂子、「16世紀の詩人ピエール・ド・ロンサールとフランス近代の作曲家たち -ロンサールの詩によるプーランク作曲「ギターによせて」とオーリック作曲「春」を例に-」、『人文論究』（関西学院大学）、2002.12、pp.127-141

高橋清徳、「＜共同研究＞ 国民国家とフランス語 ヴィレル=コトレ勅令（1539年）の歴史的 위치づけをめぐって」、『人文科学年報』（専修大学）、32号、2002.3、pp.13-37

葉狩隆夫、「エチエンヌ・パスキエにおける国家理性の問題(2)」、『ソフィア』（上智大学）、51巻1号、2002.9、pp.101-115

葉狩隆夫、「エチエンヌ・パスキエにおける国家理性の問題(3)」、『ソフィア』（上智大学）、51巻2号、2001.12、pp.112-127

Denis BJAÏ, Ronsard et les «vieux gaulois」、『ロンサール研究』（日本ロンサール学会）、15号、2002.6、pp.69-83

Gilles BANDERIER, Agrippa d'Aubigné et la tradition des poésies liminaires、『ロンサール研究』（日本ロンサール学会）、15号、2002.6、pp.85-106

松浪未知世、「デュ・ベレー『哀惜詩集』覚書（その3）」、『学苑』（昭和女子大学）、742号、2000年5月、pp.1-11

Bruno MÉNIEL, Territoire de l'épique Définition du genre de la poésie épique, en France, à la Renaissance、『ロンサール研究』（日本ロンサール学会）、15号、2002.6、pp.107-126

森本英夫、「『第四之書パンタグリユエル物語』に見られる食材について」、『ヨーロッパ文化研究』（甲南女子大学）、25号、2002年3月、pp.32-72

吉田正明、「フランスルネサンス期の詩と音楽（上）」、『人文科学論集』（信州大学・人文）、36号、2002.3、pp.85-100